

チャペル週報

No.17

2021.10.18~10.22

神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、
神もその人の内にとどまってください。

(ヨハネの手紙一 4章 16節)



くすのきとランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

< 宗教運動特集号 >

関西学院宗教センター

隣人を愛すること

岩本直美

この8月にアフガニスタンから米軍が撤退しました。その痛ましい惨状は、武力やパワーが平和を生み出すことはないことを、私たちに教えてくれます。では、何が私たちに平和へと、そして他者を愛することへと導いてくれるのでしょうか？それは「弱さ」だと思います。

バングラデシュのラルシュコミュニティでは、イスラム教徒、ヒンドウ教徒そしてクリスチャンたちが共に暮らしています。祈りの形や食習慣も違う私たちが、今日まで共に暮らすことが出来てきた理由は、こわれやすい知的なハンディのあるメンバーたちの存在のお陰です。彼らが私たちに、自分を愛し他者を愛すること、他者を赦し自分も赦されていることを受け容れること等を教えてくれます。

サルマは親に捨てられ、路上や収容施設で深い虐待を受けて来た女性です。ラルシュに来た初期の頃はその深い心の痛みのために自分や他者への暴力を抑えることができませんでした。そのようなサルマでしたが、ある日熱を出して眠っている私の傍に座り込み、おいおい泣いてくれていました。サルマは私が死んだと思ったようです。私は深く心打たれ、サルマの単純素朴な優しさと愛を心から有難いと思いました。私たちは愛されているから、他者を愛することが出来るのだと思います。今あるがままの自分を大切に思うことが出来なければ、他者を愛することは難しいと思います。

隣人を愛し共に生きたいと願う時、より小さく弱い立場に置かれた人たちに心を寄せ、共に仕えることでその小道が開かれると思います。そして小さな犠牲は求められるでしょう。大きな犠牲でなくて良いのです。毎日の暮らしの中で捧げる小さな犠牲。例えば悩んでいる友人のために、耳を傾ける時間をつくる等です。しかしそれは実は犠牲ではないのですね。神様は、それに優る喜びと平和な心を私たちお与え下さるからです。

私たちには、一人一人に神様から備えられた場所があります。そしてそこに、自分が仕えるべき人たちがいます。それは自分の家族であり友人たち、或いは道端で出会う人かもしれません。今日、自分に出来る少しのことを心を込めて行うことが出来たらと思います。神様はいつくしみと憐れみの心で、今日もあなたの内におられるのですから。

(日本キリスト教海外医療協力会 バングラデシュ派遣ワーカー)

「みんなで生きる」と出会った幸い

— イエス様との出会いを求める旅 —

畑野研太郎

聖書の中の有名なお話の一つに、富める若者の物語がある。その青年はイエスに駆け寄り、「永遠の命＝本当の命を生きるにはどうしたらいいのですか」と尋ねた。思うに、豊かに生活していても、命が燃えるような充実感を得ることができず、何か空虚なものを感じていたのだろう。「モーセの律法＝人としての道を守りなさい」と答えられた青年は、「それらのことは子供の時から守っています」と答える。イエスは、「もし完全になりたいと思うなら」すべてを捨てて従いなさいと慈しんで言われたと述べられている。「完全」とはどういうことだろう。本当の命の充実はどのようにして得られるのだろうか。

私も青年時代に同じ思いをもって暮らしていた。正義＝神の国を求めて、公害闘争や学生運動に参加したりした。しかし、まだ何か足りないという思いを振り払うことができなかった。そうした時にネパールで働いておられた岩村昇師と出会った。そして「みんなで生きる」と出会った。これは、ネパールでの師の体験を伝えられた先輩たちは、まさに JOCS が求めている言葉として私達の理念に掲げた。字数の関係でこの物語は紹介できない。興味のある方は検索していただきたい。

聖書には不思議な物語が沢山ある。その中の一つにエマオへの道行きというお話がある。イエスが十字架上で死なれた3日後、二人の弟子がエルサレムの近郊のエマオに出かけた。その道中、見知らぬ旅人と出会って同行し、救い主についての解き明かしを受け心が燃える経験をした。しかし見知らぬ旅人がイエスであったのだと気づいたのは、夕の食事を共にしようとした時であった。私は、ネパールで重病の老女を背負って三日の道を歩いて下さった青年は、イエスであったのだと信じている。

イエスの教えは、『小さくされた人は「主イエス」である』というものだ。イエスと出会い真の命を生きることを求めて、私もバングラデシュに出かけた。そして約10年間、ハンセン病の患者さんたちの治療や啓発活動を地域の仲間とともに行った。しかし貧しくされた人々の現実と間近に出会うほど、完全にほど遠い自分を実感することとなった。その時に、黙想の中でイエスのお声が聞こえた。「私は、お前の不完全という罪を背負って十字架にかかったのだ」と。イエスが来られた本当の意味を「みんなで生きる」「小さくされた人＝イエスと共に生きる」をめざした結果知らされたのだ。そして、この事実と出会うことで、本当に自由に生かされている自分の命と出会う幸いを与えられた。

(日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS) 会長)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

10/18 月

神 いのちを考える② 井上 智 (神学部助教)
経 李 相勲 (宣教師)
人 嶺重 淑 (宗教主事)
建 Christian Triebel (宣教師)
聖和 聖書物語 モーセと出エジプト 小見のぞみ (宗教主事)

19 火

文 動画配信、学生キャビネット「チャペルアワー」を参照
社 希望する力⑨ 橋本裕樹 (神学部准教授)
法 Christian M. Hermansen (宣教師)
経 舟木 讓 (宗教主事) 場所: B 号館 301 教室
商 木原桂二 (宗教主事)
〔オンラインにて実施: 学生キャビネット「商学部チャペルアワー」を参照〕
国 動画配信 URL: <https://www.kgsisxp.com/> [KG SIS キリスト教サイト]
理・工・生環 田中郷史 (日本キリスト教団小牧教会牧師)
(オンライン実施: KG_STBE_chapel で検索)
総 小出雅生 (香港中文大学非常勤講師)
教 鈴木ほの香 (教育学部3年生、宗教総部)

20 水

神 加納和寛 (神学部教授)
社 希望する力⑩ 志甫 啓 (国際学部教授)
法 大宮有博 (宗教主事)
商 木原桂二 (宗教主事)
〔オンラインにて実施: 学生キャビネット「商学部チャペルアワー」を参照〕
国 動画配信 URL: <https://www.kgsisxp.com/> [KG SIS キリスト教サイト]
理・工・生環 前川 裕 (宗教主事) (オンライン実施: KG_STBE_chapel で検索)
教 丹羽 登 (教育学部教授)

21 木

秋季キリスト教週間
大学合同チャペル「総主題: みんなで生きる」 10:30 より配信
「隣人を愛すること」
岩本直美 (日本キリスト教海外医療協力会 バングラデシュ派遣ワーカー)
URL: <https://www.youtube.com/channel/UCNIjhUyBcxy-srch5PjtgLw/>

22 金

秋季キリスト教週間
大学合同チャペル「総主題: みんなで生きる」 10:30 より配信
『「みんなで生きる」と出会った幸い」
畑野研太郎 日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS) 会長
URL: <https://www.youtube.com/channel/UCNIjhUyBcxy-srch5PjtgLw/>

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 Zoomにて開催
10月22日(金)「国際学部のために」 宮田由紀夫(国際学部長)

ZoomのURL, ID, PWについて、学生で興味のある方は shukyocenter@kwansei.ac.jp 宛に「学籍番号」「氏名」をメールしてください。教職員は kwic をご確認ください。

- ボランティアに関心がある皆さんへ(ヒューマン・サービス支援室からお知らせ)
ヒューマン・サービス支援室では、単発でのボランティア活動や継続して関わるボランティア団体・ボランティアサークルの紹介を行っています。「何をしたらいいかわからない」という人も、コーディネーターと一緒に話しながらボランティアを探せるので、気軽にご来室ください。

[開室日程]

西宮上ヶ原キャンパス: 平日 8:50~16:50

神戸三田キャンパス: 平日火・水・木曜日の 10:30~17:00 (授業期間中のみ開室)

オンライン: 平日 8:50~16:50 で相談可

※オンライン相談を希望される場合は下記よりご予約ください。

<https://onl.tw/UBvnyqX>

- 関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝
授業期間中の第二・第四日曜日(原則)の10:00~11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。
どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。
10月24日(日) 10:00~11:00

- CD・DVDライブラリー利用について
吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。
本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

- 盲導犬育成のためご協力をお願いします
関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

- 「チャペル週報」バックナンバーについて
2005年度以降のバックナンバーは下記で閲覧できます。

URL: <https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>